

編集 後記

本誌の目次をみると公衆衛生の扱う課題の幅広さを感じます。第12号には年間の総目録が添付されるため、その感想は一層強くなります。投稿論文の言語も、英文あり、和文ありです。さらに、研究方法は、横断調査、縦断調査、量的データ、質的データを扱うものなど多様です。

本誌では質的研究の数は少ないのですが、投稿数は増加しており、本号にも1篇の質的研究が掲載されています。質的研究の必要性が公衆衛生分野でも認知されてきました。一昔前までは、再現性が保証されない研究は「科学的な研究」ではないと言われてきました。これは、条件を厳密に制御することができる実験室の話です。刻々と変化する現実の社会現象およびそこに暮らす人々を対象とする公衆衛生学の研究では、厳密な再現性はあり得ませんが、転用可能性があることで、研究の成果は他の場面で活用できます。

質的研究の方法は、内容分析、グラウンデッド・セオリー、エスノグラフィ、現象学的方法、ナラティブ・アプローチ、さらにはアクションリサーチなど多彩であり、それぞれの研究方法は目的が異なります。投稿された論文は、リサーチクエスションに適した方法を用いて、複雑化多様化する公衆衛生の課題に向き合っています。多様なアプローチでその現象の構造を明らかにし、また、本質を探究し、解決のためにアクションリサーチを行うなど、疫学的方法とは異なるデータが蓄積されています。

次号予告 (第60巻・第1号)

原著

Diabetes prevention information in Japanese magazines with the largest print runs:

Content analysis using clinical guidelines as a standard ……野田(上田)英未, 他

公衆衛生活動報告

地域包括支援センター職員への地区診断研修プログラムの効果 ……村山洋史, 他

研究ノート

保健師が事業化する際の困難およびその解決策と事業提供経験との関連

保健師勤務年数群別の比較 ……吉岡京子, 他

在宅高齢者の二重課題歩行の関連要因 ……横川吉晴, 他

資料

日本助産師会会員における妊婦への食生活支援に関する調査

「妊産婦のための食生活指針」の活用状況を中心に ……瀧本秀美, 他

一方、査読する側では、結果の質的な意味は何か、と真剣に論文と向き合って読ませていただいています。アクションリサーチの分類は、公衆衛生活動報告か研究(原著もしくは研究ノート)かと悩むことがあります。質的研究においては、方法論の記述を丁寧に行うこと、結果が論理的に整理されていること、先行研究を踏まえて考察がされていることが重要と考えます。今後もオリジナリティの高い質的研究の論文が投稿されることを期待しています。(佐伯和子)

第16回日本地域看護学会学術集会

会期：2013年8月3日(土)～4日(日)

会場：ホテルクレメント徳島 (〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61)

会長：多田 敏子 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域看護学分野教授)

メインテーマ：地域の人々を支える力の共有

内容：会長講演、理事会セミナー、シンポジウム、教育講演、示説発表、ワークショップ、市民公開ポスター、市民公開シンポジウム

参加申込方法：

第16回日本地域看護学会学術集会ホームページの「参加申し込み」画面にて、オンラインによるご登録をお願いします。詳細はホームページをご参照ください。(http://jachn.umin.jp/meeting/m16/gre.html)

問い合わせ先：

◆ 第16回学術集会事務局

〒770-8509 徳島市蔵本町3丁目18-15

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域看護学分野

Mail: tokushimachiiki@gmail.com Tel・Fax: 088-633-9033

◆ 日本地域看護学会事務センター (入会申込・住所変更等)

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 榊ワールドプランニング内

Tel: 03-5206-7431 Fax: 03-5206-7757 E-mail: ckango@zfhv.ftbb.net

お問合せ時間：土・日・祝日を除く10:00～17:00